

ÄKTAFLC 圧力チェックシート

Check1

システムに原因があるか、カラムに原因があるかを調べます

オーバープレッシャーエラーが出る
圧力が高い

Act1

送液をPauseボタンで一時中断し、カラムを取り外す
(カラムの代わりにチュービングでバイパスする)

Continueボタンをクリックする

オーバープレッシャーエラーが出る
圧力が高い

No

カラム洗浄

Yes (システム内に目詰まりがある)

Act2

システムをMilli-Q水に置換して Check 2 へ

(操作)

1、Manual ↓ Pump ↓ PumpWash → On, On ⇒ Execute

2、Manual ↓ Pump ↓ Flow → 5 ml/min ⇒ Execute

約5分後、ENDボタンをクリックし送液を止める

Check2

プレッシャーセンサーで圧力を正しく計測できているかを調べます

Act1 (システム内Milli-Q水の状態で)

オンラインフィルター下側 (ミキサー側) のコネクターを
緩め圧力を開放する

圧力表示 0.00MPa (または0.05MPa)

No (それ以上)
センサーのゼロ値が
プラス側にずれています

YES
(正常ですが、
センサーのゼロ値がマイナス側にずれている
可能性もあります)
パージバルブを閉めて先に**Check3のAct1**を実施して
0.15 MPa以下だった場合、この続きを行います

Act2

センサーのゼロ設定 (キャリブレーション) を行います

(操作)

Act 1 の状態のまま (圧を開放した状態で)

**SystemControl画面/ System ↓ Calibrate → Monitor → P920Press →
Start Calibrate** ボタンをクリックします

Check3

システム内のどこに原因があるか調べます (FR-902が取り付けられている前提の内容です)

Act1

システム内Milli-Q水
カラムなし
Gradient ; ConcB% 0%
Flow 1 ml/min
⇒ Execute

圧0.15~0.35MPa

Yes

システム圧問題なし

No

(0.15MPa以下)

圧力が正しく計測できていない可能性があります
Check2へ戻ってください

(0.35MPa以上) システム内に目詰まりがある

Act2

Gradient: Conc%B 0%
InjectionValve ↓ Waste ⇒ Execute

圧 0.10 MPa以上

No

弊社技術サービス部へ連絡

(InjectionValveより下流の詰まり)

Yes

(InjectionValveより上流の詰まり)

Act3

オンラインフィルター交換

https://www.cytivalifesciences.co.jp/tech_support/akta/filter_100_fplc.html

オンラインフィルター交換後、再度Check3のAct1を行う